

三菱電機 設備用パッケージエアコン  
別売部品  
オイルフィルターユニット

形名

PAC-CS74UTB  
PAC-CS76UTB

取付説明書（販売店・工事店様用）

もくじ	ページ
安全のために必ず守ること	2
1. 使用部品	5
1-1. 同梱部品	5
1-2. 別売部品	6
1-3. 一般市販部品	6
2. 使用箇所（取付作業の概要）	7
2-1. 使用部品の取付位置	7
3. 取付作業	8
3-1. 取付要領	8
4. 配管工事	13
5. 取付作業後の確認	13
5-1. 取付作業のチェックリスト	13
6. 試運転	14
6-1. 試運転の方法	14
6-2. 試運転中の確認事項	14
7. お客様への説明	15
7-1. 取り扱い時の留意点	15

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい取付作業が必要です。取付作業の前に、この説明書を必ずお読みください。

取付作業完了後、お使いになる方に必ずこの説明書をお渡しください。


なお、以下の項目はお客様向け特記事項です。


- ご使用の前に、この説明書に記載の「お客様への説明」をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 「取付説明書」は大切に保管してください。
- ユニットに添付の別紙「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」は大切に保管してください。
- お客様ご自身では、取付けないでください。（安全や機能の確保ができません。）
- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。またアフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

# 安全のために必ず守ること

- ◆この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り付けてください。
- ◆ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

 **警告** 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うおそれのあるもの

 **注意** 取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う、または物的損害が発生するおそれのあるもの

- ◆図記号の意味は次のとおりです。



- ◆お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- ◆お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

## 一般事項

### 警告

#### 改造はしない。

- ◆改造すると、水漏れ・けが・感電・火災の原因になります。



#### 運転中および運転停止直後の冷媒配管・冷媒回路部品に素手で触れない。

- ◆冷媒は循環過程で低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷の原因になります。
- ◆保護具を身につけて作業してください。



#### 電気部品に水をかけない。

- ◆水がかかった状態で使用すると、ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災の原因になります。



#### ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしない。

- ◆感電・故障・発煙・発火・火災の原因になります。
- ◆ぬれた手を拭いてから、作業してください。



#### 掃除・整備・点検をするときは、運転を停止して、すべての関連ユニットの主電源を切る。

- ◆運転中や主電源が入った状態で作業すると、けが・感電の原因になります。



#### 異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切る。

- ◆異常のまま運転を続けると、感電・故障・火災の原因になります。
- ◆お買上げの販売店・お客様相談窓口にご連絡してください。



#### 端子箱・制御箱のカバーまたはパネルを取り付ける。

- ◆ほこり・水が入ると、感電・発煙・発火・火災の原因になります。



## 注意

パネルやガードを外したまま運転しない。

- ◆ 回転機器に触れると、巻込まれてけがの原因になります。
- ◆ 高温部に触れると、火傷の原因になります。
- ◆ 高電圧部に触れると、感電の原因になります。



使用禁止

部品端面や熱交換器のフィン表面に素手で触れない。

- ◆ けがの原因になります。



接触禁止

運転停止後、すぐにユニットの電源を切らない。

- ◆ ユニットが故障し、水漏れにより家財がぬれる原因になります。
- ◆ 運転停止から5分以上待ってください。



禁止

作業する場合は保護具を身に付ける。

- ◆ けがの原因になります。



指示を  
実行

フィルターを取り外すときは、保護具を身につける。

- ◆ ほこりが目に入り、けがの原因になります。



指示を  
実行

## 運搬・取付作業をするときに

## 注意

20kg以上の製品は、1人で運搬しない。

- ◆ 1人作業はけがの原因になります。
- ◆ 2人以上で作業してください。



禁止

## 取付作業をするときに

## 警告

梱包材は廃棄する。

- ◆ けがの原因になります。



指示を  
実行

袋状の梱包材は破棄する。

- ◆ 窒息事故の原因になります。



指示を  
実行

三菱電機指定の部品を使用し、取付けは販売店または専門業者に依頼する。

- ◆ 不備があると、水漏れ・感電・火災の原因になります。



指示を  
実行

取付作業は、販売店または専門業者が取付説明書に従って行う。

- ◆ 不備があると、冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・故障・火災の原因になります。
- ◆ お客様ご自身での取付けは、事故の原因になります。



指示を  
実行

販売店または専門業者が当社指定の別売部品を取り付ける。

- ◆ 不備があると、水漏れ・けが・感電・故障・火災の原因になります。



指示を  
実行

同梱品の装着や取外しを行う。

- ◆ 不備があると、冷媒漏れ・酸素欠乏・発煙・発火の原因になります。



指示を  
実行

## 配管工事をするときに

### 警告

現地配管を部品端面に接触させない。

- ◆ 配管が損傷し、蒸気・温水が漏れ、火傷、水漏れの原因になります。



禁止

## 移設・修理をするときに

### 警告

改造はしない

- ◆ 改造すると、冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災の原因になります。
- ◆ 移設・分解・修理は販売店または専門業者に依頼してください。



禁止

基板に手・工具で触れたり、ほこりを付着させたりしない。

- ◆ ショート・感電・故障・火災の原因になります。



接触禁止

修理をした場合、部品を元どおり取り付ける。

- ◆ 不備があると、けが・感電・火災の原因になります。

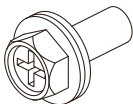
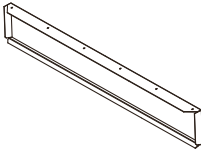



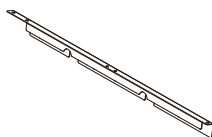
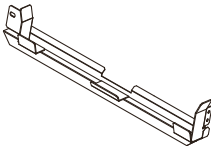
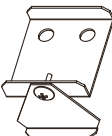
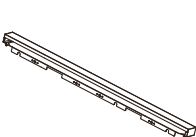
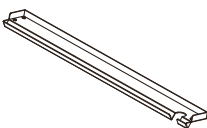
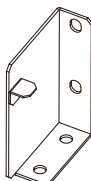
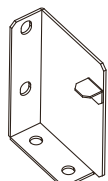
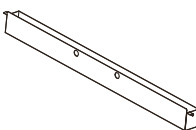





指示を  
実行

# 1. 使用部品

## 1-1. 同梱部品

本製品には下記部品が同梱されていますので取付前に確認してください。

No.	D-1	D-2	D-3	D-4	D-5
部品名	付属ねじ	延長パネル	フィルター 支え板金	フレームL	フレームR
形状					
個数	CS74UTB…28(内予備2) CS76UTB…31(内予備2)	1	1	1	1
No.	D-6	D-7	D-8	D-9	D-10
部品名	フレームT	フレームD	フィルター 固定金具	トップフレーム	オイルパン台
形状					
個数	1	1	1	1	1
No.	D-11	D-12	D-13	D-14	D-15
部品名	固定板金L	固定板金R	オイルパン	センターピラー	注意ラベル1
形状					
個数	1	1	1	CS74UTB…なし CS76UTB…1	1
No.	D-16				
部品名	注意ラベル2				
形状					
個数	1				

## 1-2. 別売部品

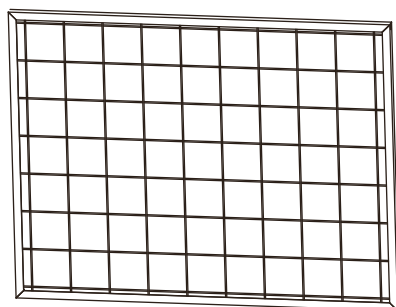
本製品には、フィルターは付属されておりません。別途下表のフィルター（別売部品）が必要です。三菱電機指定の純正部品を使用してください。

		PAC-CS74UTB		PAC-CS76UTB	
No.	品名	形名	枚数	形名	枚数
P-1	オイルフィルター	PAC-CS84UF	1	PAC-CS86UF ※	2

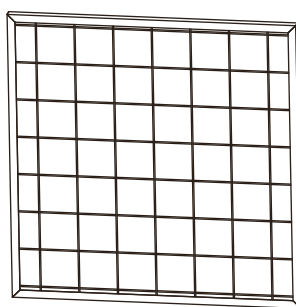
※PAC-CS86UF は、2枚組です。

### お願い

- オイルフィルターは、枠の上部を両手で持ち、ねじらないように取り扱ってください。
- 枠を大きくひずませたり、網を持って引っ張りしないてください。  
網の端面が枠から飛び出す原因になります。



PAC-CS84UF



PAC-CS86UF

## 1-3. 一般市販部品

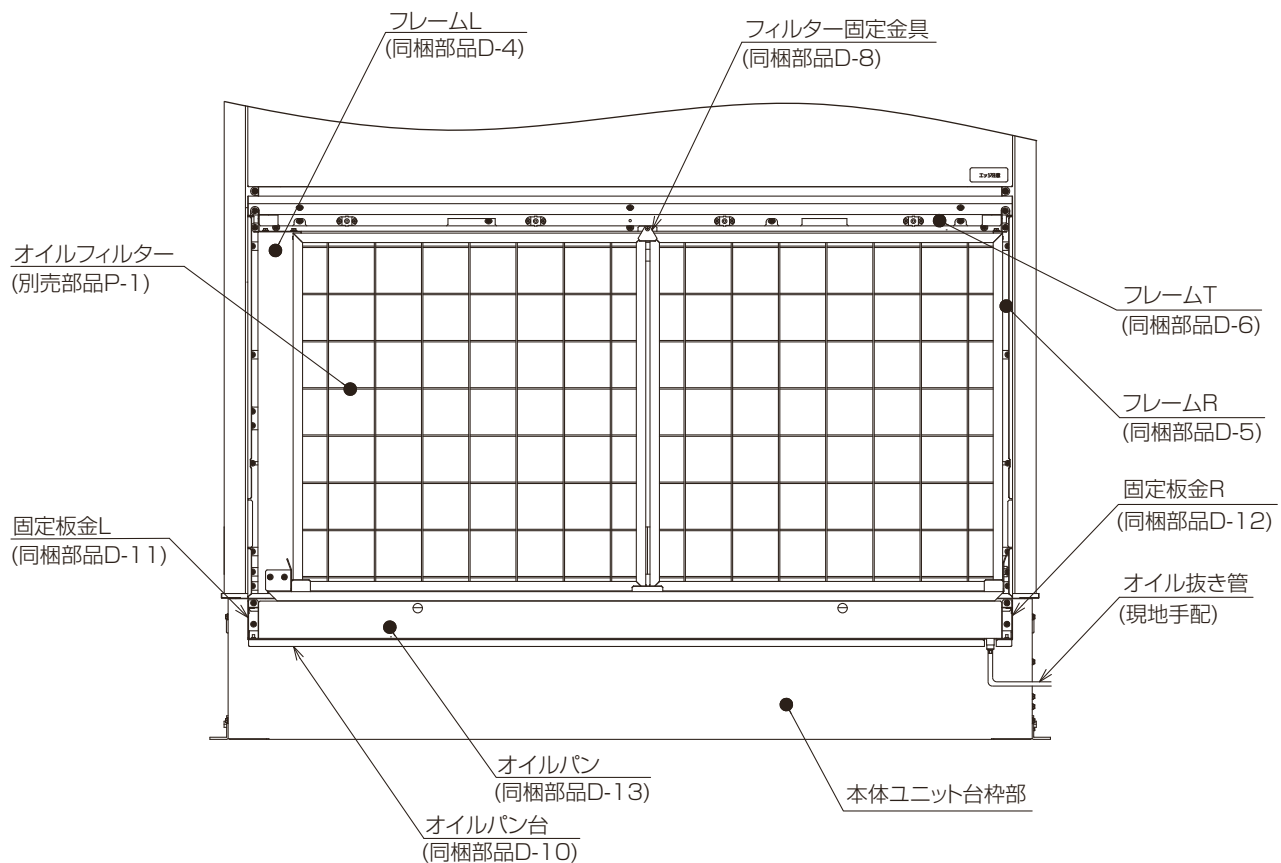
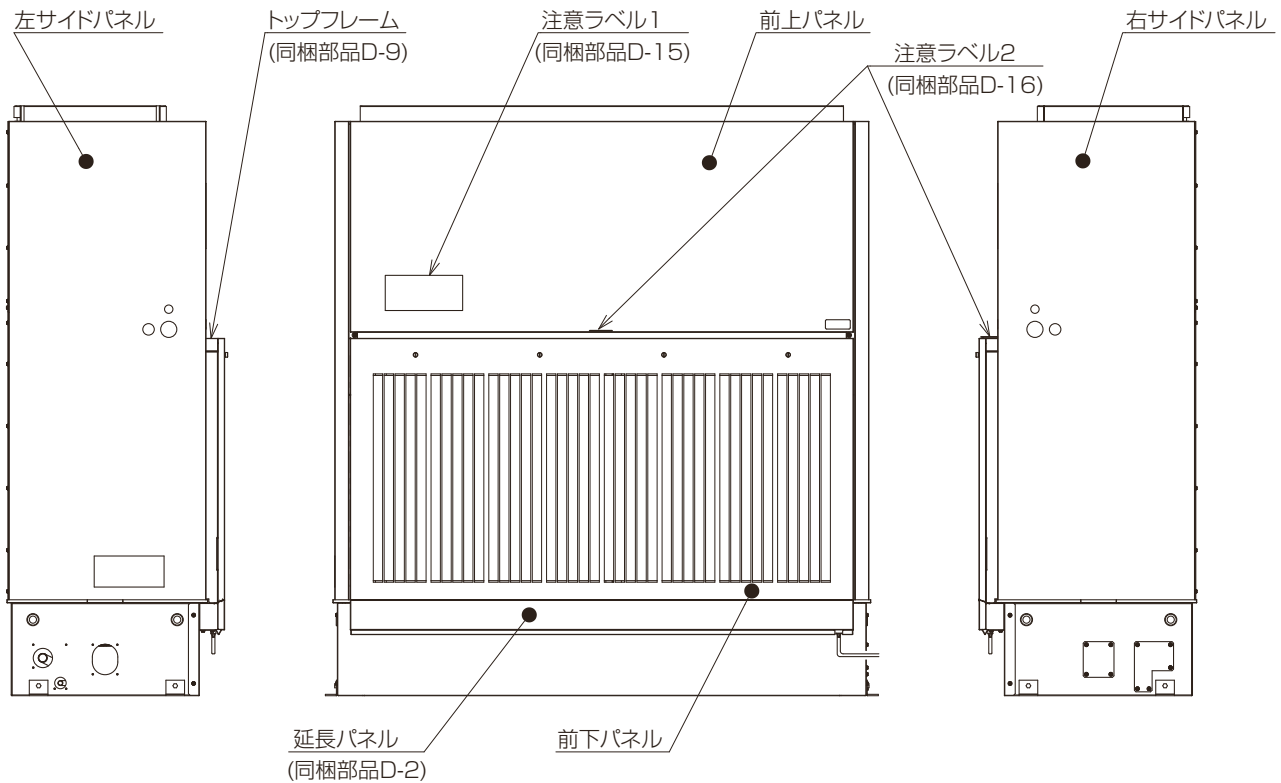
オイル抜き管を接続して使用する場合は、下記部材を準備してください。

No.	部材	仕様
S-1	オイル抜き管	R1/8

## 2. 使用箇所（取付作業の概要）

### 2-1. 使用部品の取付位置

- 本図は、PAC-CS76UTB と本体ユニットの組込図を示します。  
PAC-CS74UTB も同じ構成です。



## 3. 取付作業

### 警告

#### 梱包材は廃棄する。

- ◆ けがの原因になります。



指示を  
実行

#### 販売店または専門業者が当社指定の別売部品を取り付ける。

- ◆ 不備があると、水漏れ・けが・感電・故障・火災の原因になります。



指示を  
実行

#### 袋状の梱包材は破棄する。

- ◆ 窒息事故の原因になります。



指示を  
実行

#### 同梱品の装着や取外しを行う。

- ◆ 不備があると、冷媒漏れ・酸素欠乏・発煙・発火の原因になります。



指示を  
実行

取付場所に取り付けられる状態になりましたら、取付作業を行ってください。

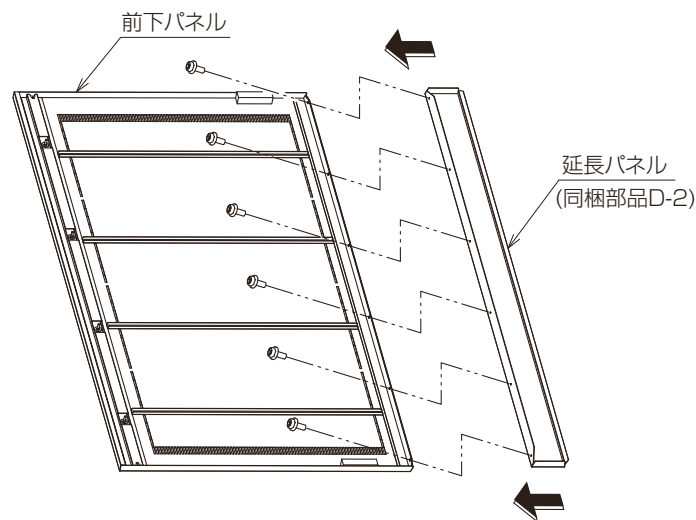
#### お願い

- ◆ 取付・点検・修理をする場合、適切な工具を使用してください。  
工具が適切でない場合、機器損傷の原因になります。

### 3-1. 取付要領

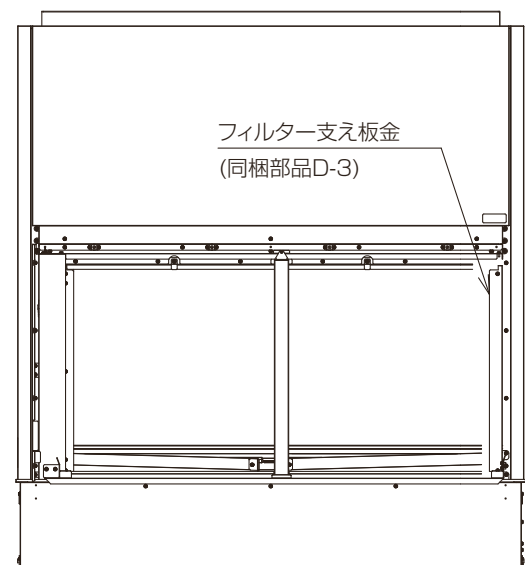
#### 手順

1. 本体前下パネルのツマミねじを緩め、前下パネルを外す。  
(PAC-CS74UTB: ねじ2本、PAC-CS76UTB: ねじ4本)
  - ◆ 中央のスリングは前下パネル側につけたままにしておいてください。
2. 本体前下パネルを平らな場所へ意匠面を下面に置き、延長パネル(同梱部品D-2)を付属ねじ(同梱部品D-1)を使い取り付ける。(PAC-CS74UTB: ねじ4本、PAC-CS76UTB: ねじ6本)
  - ◆ パネルに傷がつかないように養生して作業してください。

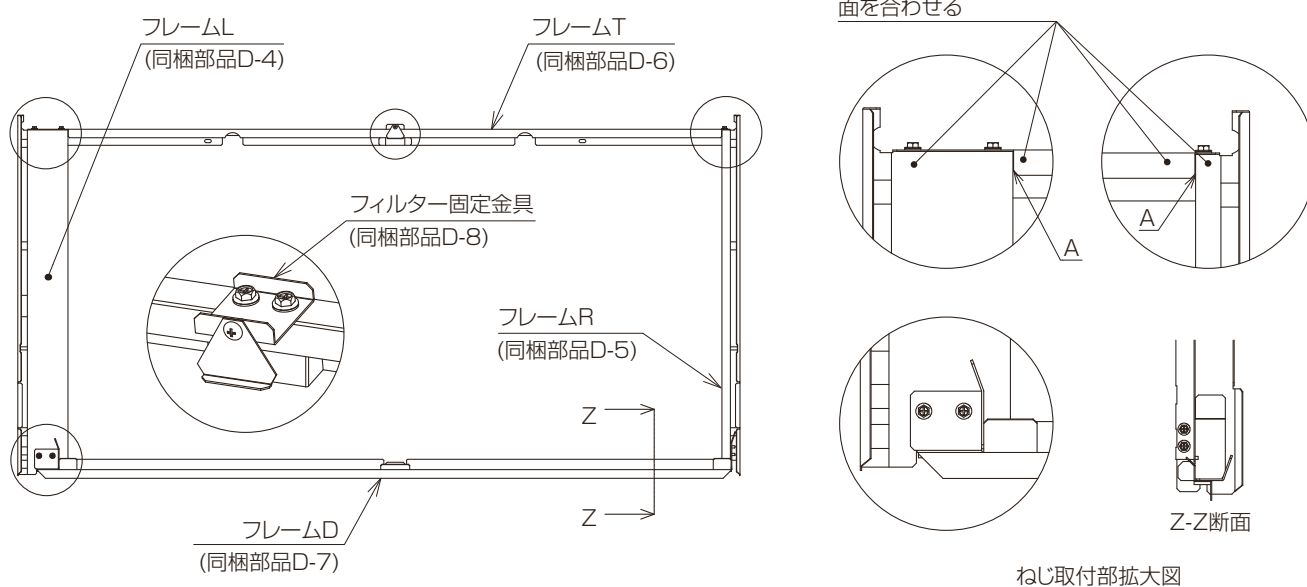




3. 本体ユニットからフィルターを取り外す。
  - 本体ユニットのフィルターはオイルフィルター（別売部品 P-1）装着時も使用します。捨てないでください。
  - 着脱方法は本体ユニットの取扱説明書を確認してください。
4. 本体ユニットの下図の位置にある フィルター支え板金（同梱部品 D-3）を取り外し、付属のフィルター支え板金（同梱部品 D-3）に取り換える。（ねじ2本）
  - 取り外した本体ユニットのフィルター支え板金は使用しません。

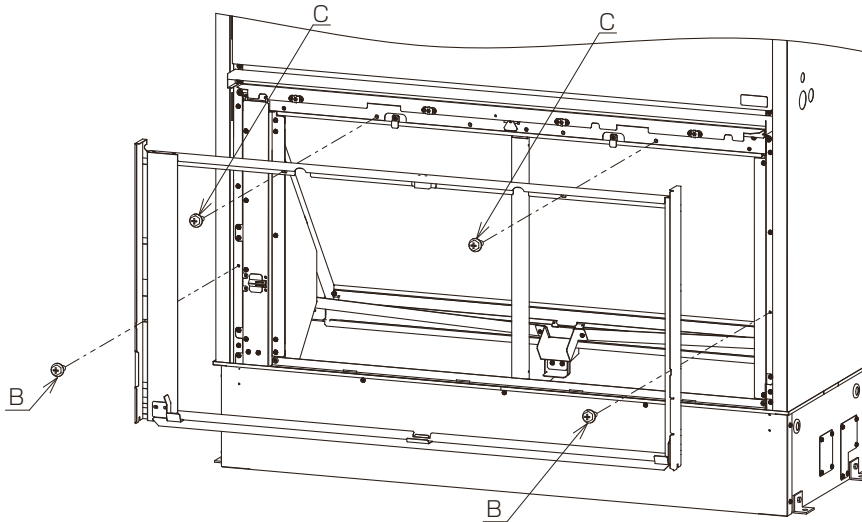


5. フレーム L（同梱部品 D-4）、フレーム R（同梱部品 D-5）にフレーム T（同梱部品 D-6）、フレーム D（同梱部品 D-7）を付属ねじ（同梱部品 D-1）で下図のように組み立てる。（ねじ7本）
  - 下右図四隅の A 部に隙間ができないよう固定してください。
6. フィルター固定金具（同梱部品 D-8）をフレーム T（同梱部品 D-6）に付属ねじ（同梱部品 D-1）で取り付ける。（ねじ2本）

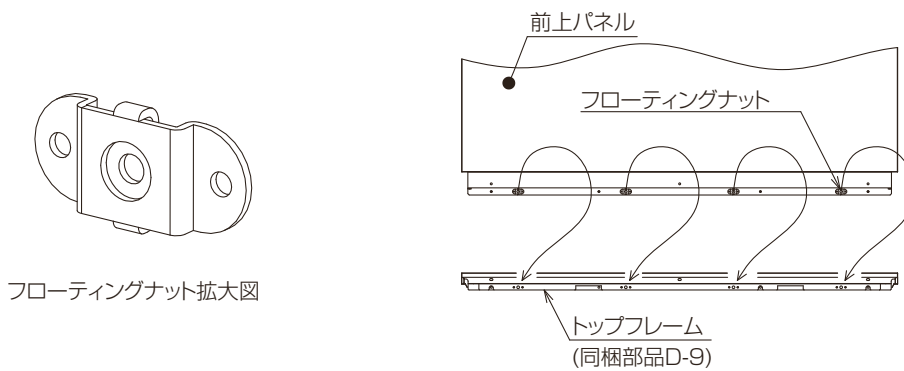


### 3. 取付作業

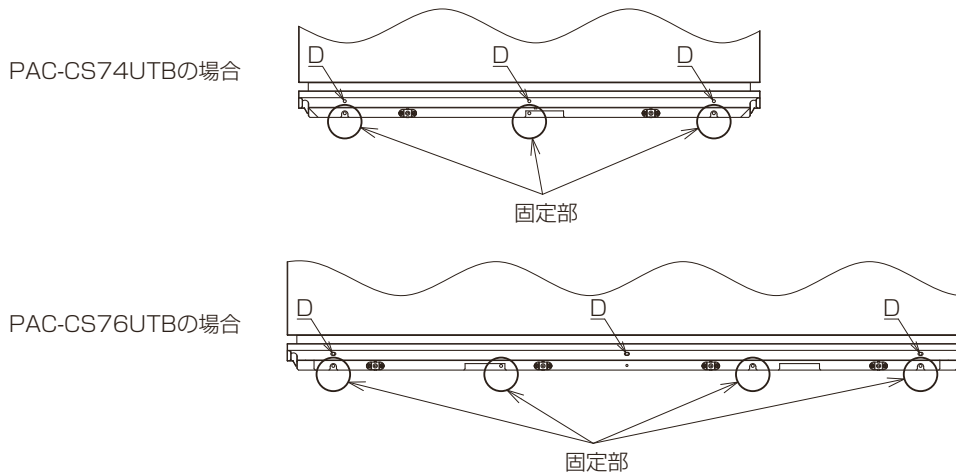
7. 本体ユニットのサイドパネルを固定している B 部のねじを取り外し、外したねじで手順 5、6 で組み立てたフレーム組立を取り付ける。(ねじ 2 本)  
フレーム T (同梱部品 D-6) と本体ユニットを付属ねじ (同梱部品 D-1) で C 部を固定する。  
(ねじ 2 本)



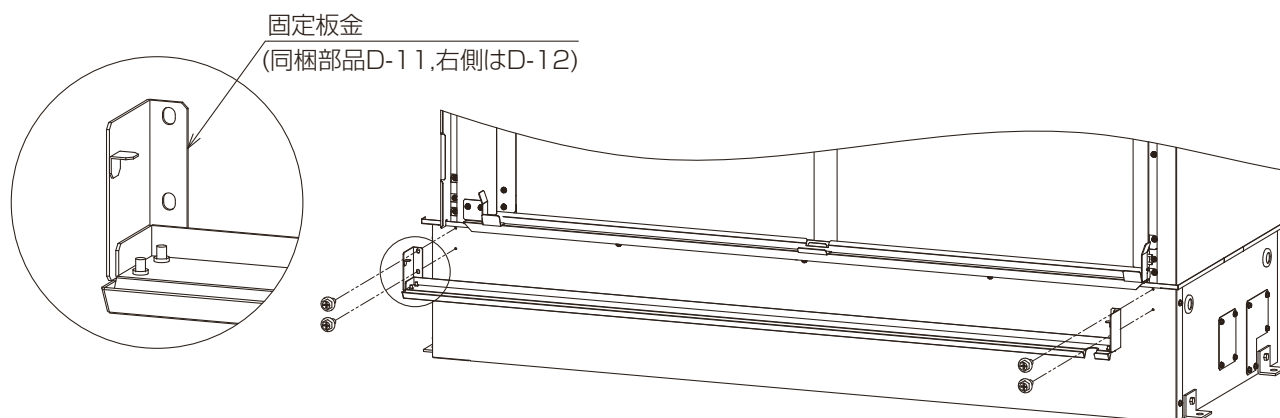
8. 本体ユニットの前上パネルからフローティングナットをすべて取り外してトップフレーム (同梱部品 D-9) に付け替える。(PAC-CS74UTB: ねじ 4 本、PAC-CS76UTB: ねじ 8 本)



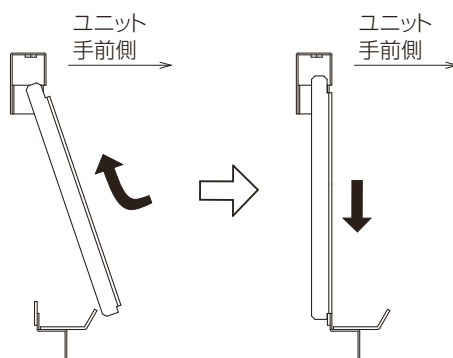
9. 本体ユニットから下図 D 部のねじを外す。(3 か所)  
トップフレーム (同梱部品 D-9) 下部の切り欠き奥 (下図固定部) にあるねじ穴で付属ねじ (同梱部品 D-1) を使用し、本体ユニットの前上パネル下部に接続する。  
(PAC-CS74UTB: ねじ 3 本、PAC-CS76UTB: ねじ 4 本)
- 固定位置は本体ユニットの前上パネルのねじ穴と D 部の長穴の中心で合わせてください。  
外した D 部のねじで共締めして前上パネルを閉じる。(ねじ 3 本)



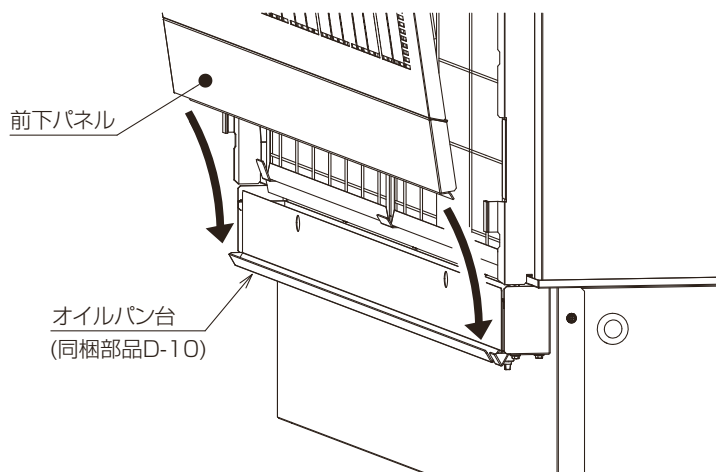
10. オイルパン台 (同梱部品 D-10) の左右に固定板金 L (同梱部品 D-11)、固定板金 R (同梱部品 D-12) を付属ねじ (同梱部品 D-1) で取り付ける。(ねじ4本)  
組み立て後、本体ユニット台枠部に付属ねじ (同梱部品 D-1) で取り付ける。(ねじ4本)



11. オイルパン (同梱部品 D-13) をオイルパン台 (同梱部品 D-10) の上に置く。  
・ 少し持ち上げて左右のツメを引っ掛けてください。
12. 手順3で取り外したフィルターを取り付ける。  
・ 着脱方法は本体ユニットの取扱説明書を確認してください。
13. センターピラー (同梱部品 D-14) の長い方の突起を上側にし、フレーム T (同梱部品 D-6) 中央の突起にあてながら引っ掛け、フレーム D (同梱部品 D-7) の中央切り欠き部にセンターピラー (同梱部品 D-14) 下側の突起を差し込む。  
・ 手順 13 は PAC-CS76UTB の場合のみ実施してください。



14. オイルフィルター (PAC-CS84・86UF) (別売部品 P-1) をフレーム D (同梱部品 D-7) のガイド部に立て、フィルター固定板金 (同梱部品 D-8) で固定する。  
・ 着脱時はフィルター固定板を左右にずらしてください。
15. オイルパン台 (同梱部品 D-10) のパネルかけ部に手順2で組み立てた前下パネルの下部を引っ掛けて、前下パネルに付けておいたスリングをトップフレーム (同梱部品 D-9) 下部の取付穴に引っ掛ける。



### 3. 取付作業

16. 前下パネルのツマミねじでトップフレーム (同梱部品 D-9) に固定する。

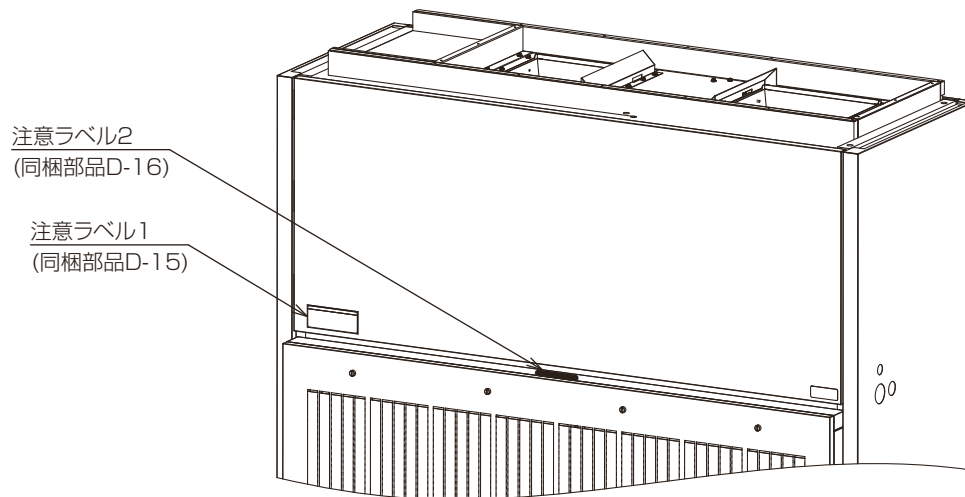
(PAC-CS74UTB: ねじ 2 本、PAC-CS76UTB: ねじ 4 本)

- 全てのツマミねじを仮締めし、パネルの左右位置を調整した後、増し締めしてください。

#### お願い

- ねじが入りにくい場合は一度緩めてから入れなおしてください。無理に力を入れるとねじが折れたり、抜けなくなる可能性があります。

17. 下図の位置に注意ラベル 1 (同梱部品 D-15)、注意ラベル 2 (同梱部品 D-16) を貼り付ける。



## 4. 配管工事

### 警告

現地配管を部品端面に接触させない。

- 配管が損傷し、蒸気・温水が漏れ、火傷、水漏れの原因になります。



禁止

#### オイルパンにオイル抜き管を接続してご使用の場合

##### 手順

- オイルパン（同梱部品 D-13）の接続口についているプラグを取り外してオイル抜き管（一般市販部品 S-1）を接続する。（オイル抜き管は現地手配）

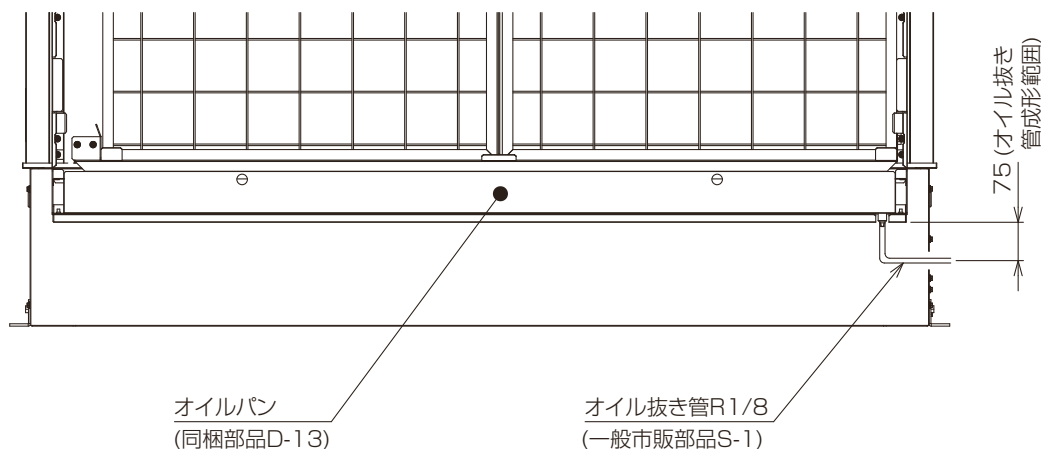
##### お願い

- オイル抜き管は、オイルパンを本体に取り付ける前にオイルパンに接続してください。
  - オイル抜き管の接続には、シーリング材を用いてねじ部をシーリングしてください。
- オイル抜き管を曲げて排油先に導く。

##### お願い

- 下図の範囲でオイル抜き管を曲げてください。

(単位：mm)



## 5. 取付作業後の確認

取付作業が完了しましたら、下表に従ってもう一度点検してください。

不具合がありましたら必ず直してください。（機能が発揮できないばかりか、安全性が確保できません。）

### 5-1. 取付作業のチェックリスト

点検項目	点検内容	点検結果
設置・取付け	部品の取付け忘れはありませんか	
	ねじに緩み、締め忘れはありませんか	
	予備の2本以上にねじが残っていませんか	
	梱包材の取り外し忘れはありませんか	

## 6. 試運転

### 警告

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切る。

- ◆ 異常のまま運転を続けると、感電・故障・火災の原因になります。
- ◆ お買上げの販売店・お客様相談窓口に連絡してください。



### 注意

パネルやガードを外したまま運転しない。

- ◆ 回転機器に触れると、巻込まれてけがの原因になります。
- ◆ 高温部に触れると、火傷の原因になります。
- ◆ 高電圧部に触れると、感電の原因になります。



運転停止後、すぐにユニットの電源を切らない。

- ◆ ユニットが故障し、水漏れにより家財がぬれる原因になります。
- ◆ 運転停止から5分以上待ってください。



お客様立ち会いで試運転を行ってください。

### 6-1. 試運転の方法

#### 手順

1. 設備用パッケージエアコンの電源を投入する。
2. 設備用パッケージエアコンを運転する。

### 6-2. 試運転中の確認事項

オイルフィルターユニットにがたつきや異常音が無いか確認してください。

※ オイルパンにオイル抜き管を接続してご使用の場合は、オイルパンに注水し、排水されるか確認してください。

## 7. お客様への説明

### ⚠ 注意

フィルターを取り外すときは、保護具を身につける。

- ◆ほこりが目に入り、けがの原因になります。



指示を  
実行

作業する場合は保護具を身に付ける。

- ◆けがの原因になります。



指示を  
実行

- この取付説明書に従って、正しい使い方をご説明ください。とくに「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようにご説明ください。
- お使いになる方が不在の場合は、オーナー様・ゼネコン関係者様や建物の管理人様にご説明ください。
- この取付説明書は、取付け後、お客様にお渡しください。
- お使いになる方が代わる場合は、この取付説明書を新しくお使いになる方にお渡しください。
- お手入れ方法はユニットに同梱している取扱説明書に記載していますのでご使用前によくお読みになり、正しく安全にお使いください。

### 7-1. 取り扱い時の留意点

- 空調機からのドレン排水には少量の油分があるため、下水処理のある下水に流すか、油分を処理してから排水してください。
- 油の種類によっては、加水分解により有機酸（蟻酸・酢酸など）を発生する油があります。オイルフィルター（別売部品 P-1）では、これらの腐食成分を除去できません。
- 本ユニットには中性能フィルター、高性能フィルター、プレナムチャンバー吹出口フィルターの併用組み込みはできません。
- 周囲空気中の油ミスト濃度は、 $0.5\text{mg}/\text{m}^3$  以下で使用してください。
- オイルフィルター（別売部品 P-1）の清掃周期は、1回/週を目安としてください。  
使用環境、油の濃度・粘度、じんあい量などによって汚れ方が変わります。  
ユニット内部のフィルターも同時に清掃してください。  
ドレンパン、ドレン管の清掃も合わせて実施しドレン排水性を確認してください。  
(清掃の方法は、本体ユニットの取扱説明書を確認してください。)
- ユニット内部は油環境下での使用により、通常より汚れが早くなり寿命が短くなることがあります。  
熱交換器、ドレンパン、モーター、ファンなど、定期的にメンテナンスしてください。  
モーター、ファンのメンテナンスはお買上げの販売店（工事店・サービス店）に相談してください。
- オイルパンに溜まったオイルは、オーバーフローしないようにしてください。  
オイル抜き管を接続していない場合、オイルは前面サービスパネルを開けるとともにオイルパンを前面上方向に引き出して捨ててください。  
オイルパンがオーバーフローすると、オイルがユニット前面から外部へ流出します。  
オイルの量は前下パネルを開けることで確認できます。
- オイルフィルター（別売部品 P-1）を組み込むと、機内抵抗が増加します。  
技術資料を参照し静風圧選定をしてください。
- オイルパンにはオイル抜き管の接続が可能です。  
接続する場合は、お買上げの販売店（工事店・サービス店）に相談してください。

ご不明な点や修理に関しては、お買上げの販売店（工事店・サービス店）か  
「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（ユニットに添付の別紙）に記載の  
連絡先にご相談ください。

## 三菱電機株式会社

冷熱システム製作所 〒640-8686 和歌山市手平6-5-66

2023年2月作成  
WT09853X01